

令和4年度取り組み目標の変更一覧

変更 → 上方修正

変更 → 下方修正

追加・変更 → 追加または変更

1. 安全で信頼される医療の提供（医療の質の向上）

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	令和4年度目標(変更前)	変更	令和4年度目標(変更後)	目標変更理由
感染管理体制の充実	感染防止活動の充実	院内感染防止対策の推進	院内感染対策研修会 感染対策 年2回、ICT研修会 年2回 ICTカンファレンス・ラウンド 週1回 感染防止対策加算1-2カンファレンス 年4回 感染防止対策加算1相互チェック 年1回	追加・変更	院内感染対策研修会 感染対策 年2回、ICT研修会 年2回 ICTカンファレンス・ラウンド 週1回 感染対策向上加算1-3カンファレンス 年4回 感染対策向上加算1相互チェック 年1回 外来感染対策向上加算施設との連携 院内感染マニュアル改定	診療報酬の名称変更のため マニュアル改定未完了のため
医療安全管理体制の充実	医療安全文化の醸成	インシデント報告件数の増と浸透の仕組み作り	インシデント報告件数 年7,000件以上 インシデント報告ゼロ部署の解消 医師、研修医のインシデント報告割合10%以上の継続 研修医のインシデント報告件数 1人10件以上 医療安全管理室活動レポートの院内発信 年6回	追加・変更	インシデント報告件数 年7,000件以上 インシデント報告ゼロ部署の解消 医師、研修医のインシデント報告割合10%以上の継続 研修医のインシデント報告件数 1人10件以上 医療安全管理室活動レポートの院内発信 年6回 院内急変対応システム(RRS)の構築	院内急変対応システム(RRS)を立ち上げ、令和4年4月より始動したため追加
救命救急センターの充実	積極的な受け入れ体制の強化	救急車の受け入れ台数、応需率の増加	救急車受け入れ台数 年4,550台以上 三次応需率 80%以上	変更	救急車受け入れ台数 年4,500台以上 三次応需率 80%以上	令和3年度の実績を踏まえて救急車受け入れ台数を下方修正
	脳卒中センターの充実	脳梗塞超急性期治療の充実	rt-PA静注療法 年35件以上 血栓回収術 年60件以上	変更	rt-PA静注療法 年25件以上 血栓回収術 年60件以上	令和3年度の実績を踏まえてrt-PA静注療法の件数を下方修正
	体制に見合った人員の配置	救急・手術部・ICU連携のための適正配置	手術介助ができるICU看護師3名増 救急外来・救急病棟両部署の勤務可能看護師8名増 救急外来薬剤師1名配置	追加・変更	手術介助ができるICU看護師3名増 救急外来・救急病棟両部署の勤務可能看護師8名増 救急外来薬剤師1名配置 手術室専任薬剤師1名配置 周術期薬剤管理加算算定	診療報酬改定による変更 (周術期薬剤管理加算など)により手術室専任薬剤師の育成を開始したい
地域がん診療連携拠点病院の充実	高度型としての体制整備	放射線治療の充実	IMRT実施件数 年80人以上	変更	IMRT実施件数 年130人以上	令和3年度後半に実施件数が伸びたため目標値を上方修正
		ロボット手術の充実	泌尿器科ロボット手術件数 年80例以上 外科ロボット手術件数 年20例以上 産婦人科ロボット手術件数 年10例以上	変更	泌尿器科ロボット手術件数 年100例以上 外科ロボット手術件数 年12例以上 産婦人科ロボット手術件数 年15例以上	令和3年度目標を一部達成したため上方修正
	乳腺センターの充実	乳がん診療の充実	乳腺疾患手術例 年300例以上 乳房再建 年30例以上 地域連携バス 年30例以上	変更	乳腺疾患手術例 年300例以上 乳房再建 年30例以上 地域連携バス 年60例以上	手術件数の増加に伴い、外来の効率化をはかるために連携バスを推進する
	ゲノム医療の推進	がんゲノム医療連携病院の認定取得	がん薬物療法臨床試験登録 2人 認定遺伝カウンセラー資格、GMRC(ゲノムメディカルリサーチコーディネーター)もしくはCGMC(がんゲノム医療コーディネーター)の有資格者の育成	追加・変更	がん薬物療法臨床試験登録 2人 認定遺伝カウンセラー の有資格者の育成	令和3年度中に一部資格取得者がいたため
地域医療支援病院の充実	前方連携の強化	紹介率・逆紹介率の向上	紹介率 73%以上 逆紹介率 105%以上	変更	紹介率 73%以上 逆紹介率 107%以上	逆紹介率は令和3年度で105%を達成したことから、107%に上方修正
患者サービスの向上	入退院支援室の充実	入退院支援室で対応する入院患者数の増加	入退院支援室で対応する患者の割合 予定手術患者のうち 85%以上 予定入院患者のうち 66%以上	変更	入退院支援室で対応する患者の割合 予定手術患者のうち 90%以上 予定入院患者のうち 70%以上	いずれも令和3年度目標値を達成したため上方修正

令和4年度取り組み目標の変更一覧



中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	令和4年度目標(変更前)	変更	令和4年度目標(変更後)	目標変更理由
良質なチーム医療	チーム医療の充実	CPTの充実	定期会議の開催 年2回 要保護児童対策地域協議会への参加 月1回 虐待に関する講演会・講習の実施 年1回	変更	定期会議の開催 年2回 要保護児童対策地域協議会への参加 月1回 虐待に関する講演会・講習の実施 年2回	令和4年4月からの診療報酬改定で入院費に加算が付くが、その認定基準に合わせるため
			急性期呼吸管理サポートチームの充実	急性期呼吸管理サポートチーム介入件数 年40例以上	追加・変更	急性期呼吸管理サポートチーム介入件数 年40例以上 人工呼吸器管理中の覚醒試験と離脱試験の施行率80%
	急性期リハビリテーションの充実	休日稼働の充実	年間実施単位数 100,000単位以上	変更	年間実施単位数 98,000単位以上	令和3年度の実績を踏まえて下方修正。中間で評価をし、再度検討する。

2. 安定した病院経営

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	令和4年度目標(変更前)	変更	令和4年度目標(変更後)	目標変更理由	
収入の確保	その他の収入確保策	手術室の効率的な運用、手術室スタッフの人材活用	手術室での業務に対応できる看護師 3名育成 A館手術室稼働率 78%以上 E館手術室稼働率 35%以上 時間外手術も加味した修正稼働率の目標設定	変更	手術室での業務に対応できる看護師 3名育成 A館手術室稼働率 77%以上 E館手術室稼働率 35%以上 時間外手術も加味した修正稼働率の目標設定 A館手術室修正稼働率 85%以上	A館手術室稼働率について、令和3年度の実績に基づき下方修正 時間外手術を加味した修正稼働率について、令和3年度実績に基づき具体的な数値を記載	
			がん患者指導管理料算定件数の増加	管理料イ 年575件以上 管理料ロ 年625件以上 管理料ハ 年250件以上	変更	管理料イ 年575件以上 管理料ロ 年625件以上 管理料ハ 年100件以上	令和4年度から新設された「外来腫瘍化学療法診療料」と「がん患者指導管理料ハ」の同時算定ができないことから、薬剤師による「管理料ハ」の算定がなくなる見込みのため
			ADL維持向上等体制加算の土曜日算定、専従職員の配置	ADL維持向上等体制加算 月平均550件以上	追加・変更		土曜日稼働の体制を変更し専従職員の配置が困難となったため、ADL維持向上等体制加算の算定を終了とする

3. 教育・研究等の充実

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	令和4年度目標(変更前)	追加・変更	令和4年度目標(変更後)	目標変更理由
人材育成	看護師の専門性の向上	認定資格等の取得、特定行為研修への参加	特定行為研修受講者 1名	追加・変更	特定行為研修受講者 1名 認定看護師教育課程受験者 1名	1名が認定看護師教育課程に受験し、令和4年6月に合否決定のため追加 また、新病院を見越した人材育成プランを明確にするため追加
	メディカルスタッフの専門性の向上	認定資格の取得・維持	新たな認定資格の取得 臨床検査技師 3名 放射線技師 1名 臨床工学技士 2名 理学療法士 1名 現在の認定資格の維持 管理栄養士	追加・変更	新たな認定資格の取得 臨床検査技師 3名 放射線技師 1名 臨床工学技士 2名 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のうち1名 現在の認定資格の維持 管理栄養士	柔軟に対応するため、理学療法士だけでなく、作業療法士、言語聴覚士も追加

4. 新病院へのステップアップ

中項目	小項目	中期経営計画上で実施するとされていること	令和4年度目標(変更前)	変更	令和4年度目標(変更後)	目標変更理由
IT化への対応	ITを活用した広報の充実	ITを活用して病院の広報や機能の強化を図る	連携ネットメーリングリスト登録数 230件以上	変更	連携ネットメーリングリスト登録数 240件以上	令和3年度で230件を達成したことから、240件に上方修正